

平成24年度がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン 評価集計表

番号	実 施 計 画		評価委員会による評価									
	項 目	具 体 的 な 内 容	A委員	B委員	C委員	D委員	E委員	F委員	G委員	H委員	I委員	J委員
①	教育コースの企画運営	地域がん専門医療人(臨床腫瘍医、放射線治療医、緩和医療医、医学物理士、看護師、薬剤師)を養成するための教育コース及び高度ながん研究能力を有するがん研究者養成のためのコースの企画運営を行う。	A	A	B	B	A	A	A	A	欠席	欠席
②	専門看護師及び専門薬剤師のインテンシブコースの企画運営	旭川医科大学では、緩和ケアリンク看護師を養成するための「地域エンドオブライフケア推進看護コース」、北海道医療大学では、がん医療に関わる薬剤師を養成するための「地域がん医療薬剤師コース」の企画運営を行う。	A	A	A	A	A	A	A	A	欠席	欠席
③	がんプロフェッショナル養成基盤推進ボード会議(4大学共同運営協議会)の開催	プラン全体の適正な運営管理と共同事業の円滑な運営を図るため、「がんプロフェッショナル養成基盤推進ボード(4大学共同事業運営協議会)」を年2回開催する。	A	A	A	A	A	A	A	A	欠席	欠席
④	講座新設のための調査と講座開講	「がん疼痛緩和医療学講座(札医、H25.4設置予定)」、「先端放射線治療医学分野(北大、H24.10設置予定)」、「地域がん診療連携講座(旭医、H24.10設置予定)」の3つのがんに特化した講座の開設に向け円滑な実施運営が図られるよう準備を進めるとともに、今年度開設予定講座の適切な運営を図る。また、当該講座の適切な運営を図るため、専任教員(特任教員)や事務スタッフを配置する。	A	A	A	A	A	A	A	A	欠席	欠席
⑤	地域における合同キャンサーボード、特別セミナーの開催	4大学共同の取組として、地域医療機関に出向きキャンサーボードへの参加やセミナーを開催することにより、地域の医療レベルや患者・家族の状況に応じたがん診療の提供や療養支援が出来る人材を養成する。また、本合同キャンサーボード、セミナーは、地域がん診療に従事している医師、看護師、薬剤師、医学物理士、放射線技師、医療ソーシャルワーカーなど、多職種にわたるがん専門医療人を対象として行い、地域がん診療が出来るチーム連携能力の高いがん専門医療人を育成する。	A	A	A	A	A	A	A	A	欠席	欠席
⑥	市民公開講座の開催	一般市民に対して、がんの予防や検診、また医療の最新情報や最先端のがん医療(薬物療法や放射線療法)、がんの疼痛緩和ケアの情報を提供し、がん医療の現状を知ってもらうとともに、本プランに対する理解を深めてもらう。	A	A	A	B	A	A	A	A	欠席	欠席
⑦	評価委員会の開催	本プランの進捗状況や各コースの内容等を客観的に評価し、プラン全体の適切な運営と実行性の高いプログラムにするため、年度末に評価委員会を開催する。	A	A	A	A	A	A	A	A	欠席	欠席
⑧	専用Webサイトの管理運営	本プランの概要や各コース内容、募集要項、がん医療に関する各種講演会や市民公開講座の開催状況、研究実績などを発信し、本プランに対する理解を深めてもらう。	A	A	A	B	A	A	A	A	欠席	欠席
⑨	各大学独自の取組	本プランの推進に当たり、各大学で独自にセミナーやカンファレンスを行い、医療関係者ががんに関する様々な知識を提供する。	A	A	A	A	A	A	A	A	欠席	欠席
各評価委員による総合評価 Aが6項目以上で「Ⅳ」 Aが4～5項目で「Ⅲ」 Aが2～3項目で「Ⅱ」 Aが0～1項目で「Ⅰ」			Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ		
評価委員会の評価			Ⅳ(Ⅳ:8名)									